

民間検査機関によるPCR検査結果の誤判定について

横浜市が委託により実施する新型コロナウイルスのPCR検査において、検体採取後の民間検査機関による判定結果に誤りがあり、本来「陰性」であったにもかかわらず、患者様へ「陽性」として誤った結果をお伝えしてしまいました。

既に患者様にはお詫びと訂正の連絡をさせていただいています。

このことについてお知らせするとともに、患者様、ご家族様、並びに関係者のみなさまに深くお詫び申し上げます。

1 経緯

4月27日

- 午後
- ・10代から50代の男女5名の患者様から検体採取
 - ・採取後、検体を民間検査機関へ受け渡し

4月28日

- 16時半頃
- ・民間検査機関の担当者から市保健所あて電話及びFAXにて検査結果の報告（「5名全員陽性」とのこと）
 - ・主治医から患者様へ「陽性」の結果報告
- 18時半頃
- ・民間検査機関の担当者から市保健所あて、今回検査に疑義があり再検査を実施中との報告。直ちに主治医及び区福祉保健センター（以下「区」）へ連絡。
 - ・主治医から患者様へ「再検査実施中につき、陽性の結果は確定ではない」としてご連絡。その後、区から患者様へも「夕刻の検査結果に疑義が生じたため、改めて結果をお知らせするまでお待ちいただきたい」としてご連絡。
- 21時半頃
- ・民間検査機関の担当者から市保健所へ、「検査が遅れ、結果は23時以降」との連絡あり。区から患者様あてに「再検査結果のお知らせは翌朝になる」としてご連絡。
- 23時半頃
- ・民間検査機関から市保健所へ再検査結果について「全員陰性」として報告あり、結果誤判定の原因は社内調査中とのこと。
 - ・市保健所から主治医へ報告。患者様には市保健所からお知らせすることとした。

4月29日

- 0時半頃
- ・民間検査機関からのFAXにて検査報告書「陰性」を再確認
- 8時頃
- ・市保健所より患者様に再検査後の確定結果として「陰性」をご報告

2 原因・再発防止策等

誤判定の原因、市内医療機関における同社の請負実績等については現在同社にて調査中です。調査結果について報告を受け次第、再発防止等についても改めてご報告します。

民間検査機関名：株式会社 保健科学研究所

本社：横浜市保土ヶ谷区神戸町106

代表取締役社長 久川 聡（医学博士）

3 患者様への対応について

患者様へは、一旦「陽性」の判定をお伝えした後、2時間後に再検査の報告を受けた時点で直ちに事情をご説明し、確定結果の通知を改めてお知らせする旨ご了解をいただき、翌朝に「陰性」の確定結果をお知らせしています。

お問合せ先		
健康福祉局健康安全課担当課長	木野知 裕	045-671-2468